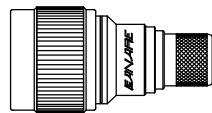
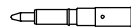


圧着式S型コネクタ取付法 (SP-C8F)

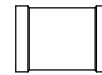
■ 名称



コネクタ本体



中心コンタクト



圧着スリーブ

■ 使用工具

圧着ダイス: TCD-8DF(当社製), 圧着工具本体(ペンチ): TC-2(当社製)

■ 適用同軸ケーブル

8D-FB, L-8DFB(当社製), L-8DFB-EM(当社製) ※当社製以外のケーブルは、使用できない場合があります。

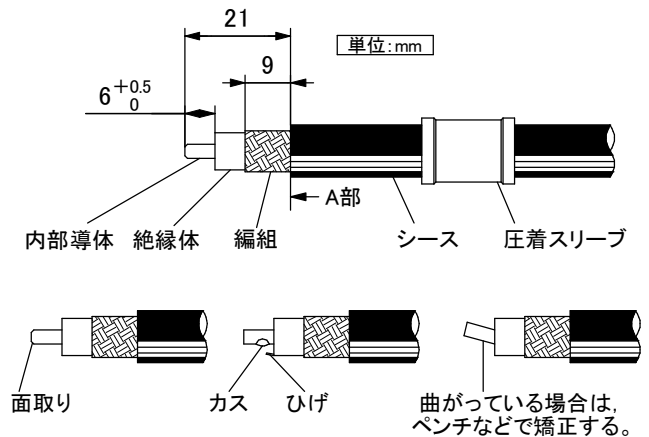
0 コネクタ部品が使用ケーブルに合っていることを確認する。

圧着スリーブをケーブルに通しておき、ケーブルのシース、編組、絶縁体を右図のとおり切り取る。

⚠ 注意

● 切り取る前に、ケーブルの曲がり直しておくこと。ケーブルが曲がったまま、中心コンタクトを圧着すると、所定の性能が得られません。

- 切り取る際、内部導体および編組に傷をつけないこと。
- 内部導体の先端をヤスリなどで面取りし、中心コンタクトに入りやすくすること。
- 内部導体表面に絶縁体のカスが残っていると圧着不良の原因となるので、取り除くこと。
- アルミラップシールドは、編組のA部まではがすこと。アルミラップシールドのカス・ひげは、ショートの原因となるので、取り除くこと。



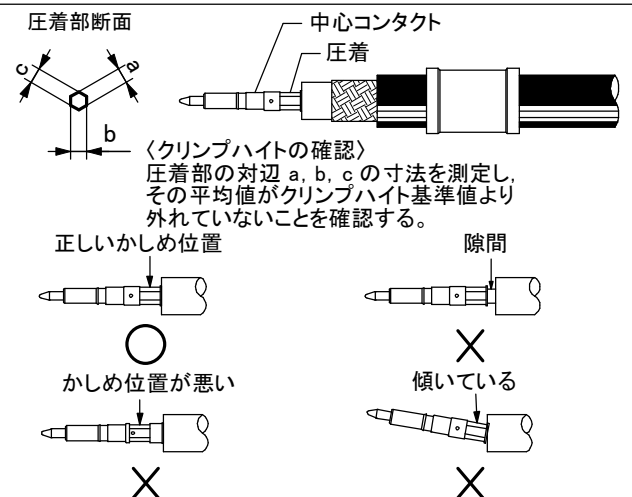
2 中心コンタクトを同軸ケーブルの内部導体に差し、絶縁体と隙間がないように圧着工具でかきめる。

⚠ 注意

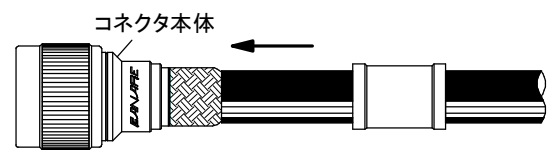
● 圧着状態が適正であることを確認するために、クリンプ高さを測定して下さい。クリンプ高さが基準値より外れる場合は、圧着工具を調整してください。

クリンプ高さ基準値: 3.15~3.25mm

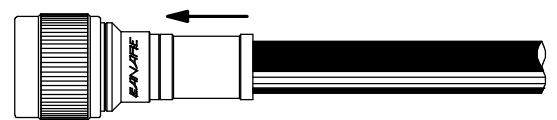
- 圧着部にバリが出た場合は、ナイフなどで取り除くこと。
- 中心コンタクトの根元の段差部分は、圧着しないこと。
- 圧着後、中心コンタクトが傾いている場合は、真っ直ぐに矯正すること。



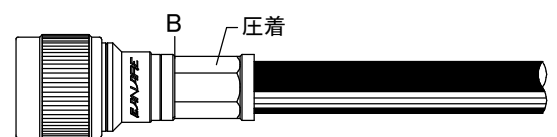
3 同軸ケーブルの根元を持って、コツンという感触があるまでコネクタ本体へ押し込む。



4 圧着スリーブをコネクタ本体に突きあたるまで、移動させる。



5 圧着スリーブを圧着工具でかきめる。このとき、圧着工具の端面をBの位置に合わせてかきめる。



ご使用上の注意事項

● 圧着工具は、当社専用品をご利用ください。

※ 当社専用品を使用しない場合、十分な圧着力が得られません。

● 当社製ケーブルストリッパは、ご使用できません。